

平成14年度実施事業 詳細評価シート

担当部課	経済部農水産課	直通電話	72-3164	事業コード	501010402	課内	12	作成日	平成15年8月11日
		担当者	吉田 雅人	担当課長	吉田 公	担当部長	工藤 厚志		

1 事業のアウトライン

1) 事業名	施設園芸推進補助事業	開始年度	H13	終了年度	H16
		最近の事業内容見直し年度			
2) 総合開発計画での事業体系	施策コード 5010104 大項目 / 小項目 / 細項目 農業、水産業の振興 / 農業の振興 / 主要農作物の生産振興				
3) 個別計画での位置付け	石狩市農業振興計画 4.「経営の体質強化」				

2 事業の内容

1) 事業の目的 何のために	天候に左右されずらく、高収益な施設園芸作物の生産を拡大し安定した産地をつくる。
2) 目指す成果 何をどんな状態にする(何がどんな状態になる)ように	市の振興作物であるミニトマトなどの施設栽培作物の生産量・販売額が増加するようにする。
3) 事業の方法 どんな手段を講じるのか	次の事業を行う石狩市農協そ菜園芸振興会に対して、その事業経費の一部を補助する。 高岡地区を中心に施設栽培に取り組んだり、ビニールハウス設置棟数を増やすことによりミニトマトなどの施設園芸作物の生産を拡大する。 H14年度ビニールハウス設置棟数 ミニトマト10棟、メロン3棟、ほうれん草・小松菜4棟、花3棟、その他野菜3棟
4) 14年度に改善した事項、重点的に取り組んだ事項	なし
5) 事業の背景・社会状況・他の類似事業など	本市は札幌市近郊にある立地条件を活かし都市近郊型農業を推進してきたが、平成13年度に高岡地区に畑地かんがい排水が整備され、当該地区の産地化を進める環境が整った。 また、新規参入者が就農するに当たっては、その農業経営に高収益で安定的な施設栽培を取り入れることが肝要であることからこれを支援する必要もある。
6) 事業の立案や実施などへの市民参加	なし
7) 評価中間公表への市民意見	なし

3 事業に投入した行政資源

項目	H12	H13	H14	H15 予算	H14事業費の主な内訳	金額(千円)
1) 直接事業費(千円)	0	6,050	8,648	2,300	施設園芸推進事業補助金	8,600
2) その他の間接経費(千円)					補助金交付事務に係る消耗品等の事務経費	48
3) 従事正職員の人件費(千円)		166	165			
総事業費(1~3の合計;千円)		6,216	8,813		H14主な特定財源の内訳	金額(千円)
総事業費中の一般財源(千円)		6,216	8,813			
市民一人当たり一般財源使用額(円)		112	158			
事務に従事した正職員のべ人数		0.02人	0.02人			

4 事業活動の結果

事業活動の結果を示す指標	H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法
ビニールハウス設置数(棟)	目標値		22	23	8 年間設置棟数 目標値は年度ごとの生産者希望数により設定
	実績値		22	23	
	達成率		100.0%	100.0%	
ビニールハウス延べ設置数(棟)	目標値		69	92	100 平成9年からの延べ設置棟数 うちミニトマトハウス53棟(H15目標8棟) 目標値は年度ごとの生産者希望数により設定
	実績値		69	92	
	達成率		100.0%	100.0%	
	目標値				
	実績値				
	達成率				

5 事業の成果

事業名：施設園芸推進補助事業

事業の成果を示す指標		H12	H13	H14	H15	各指標の説明・算定方法	確認方法
ミニトマトの販売量(トン)	目標値		73	90	103	年間販売数量 目標値はJAいしかりの販売目標により設定	JAいしかり販売実績により
	実績値		72	90	目標レベル		
	達成率		98.6%	100.0%			
	最終目標	平成16年度に 120t					
施設園芸作物全体の販売額(千円)	目標値		37,000	49,000	55,000	年間販売額 目標値はJAいしかりの販売目標により設定	JAいしかり販売実績により
	実績値		39,457	49,894	目標レベル		
	達成率		106.6%	101.8%			
	最終目標	平成16年度に 60,000千円					
	目標値						
	実績値				目標レベル		
	達成率						
	最終目標	年度に					

6 事業の観点別評価

1) 事業活動の状況	[課長評価]	極めて良好	概ね良好	一部問題あり	大きな問題あり
[評価ポイント] 活動結果や活動効率、事業改善等の効果はどうだったか		14年度においては、予定どおりの事業が実施されたので、極めて良好と判断した。			
2) 有効性・必要性	[課長評価]	有効かつ必要	有効性に疑問あり	必要性に疑問あり	ともに疑問あり
[評価ポイント] その事業は事業目的の達成に効果があるか、また、市民(対象者)に必要とされているか		施設園芸作物の生産拡大は、都市近郊型農業を推進していくうえで極めて必要な事業であり、当該事業の実施量に応じ、施設園芸作物の作付面積や販売額が増加していることから、有効かつ必要な事業である。			
3) 市関与の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] その事業に市が関与する必要があるか、市がどこまで関与するのが適当か		都市近郊型農業の推進や振興作物の拡大などは、市農業が長期的に存続していくために必要であり、市も奨励しているが、施設園芸を行うためには、ビニールハウスの設置などに対する農業者の負担が大きいため、それらの負担を軽減し施設園芸推進を誘導することについて、市が関与することには一定の妥当性がある。			
4) 事業内容の妥当性	[課長評価]	極めて妥当	一定の妥当性あり	妥当性に疑問あり	妥当性が低い
[評価ポイント] 目指す成果を挙げるためには今の事業内容が適当か、受益と負担の関係に不公平はないか		農業者が施設園芸を行うためには、栽培技術の習得、既存作物との労力配分調整や労力確保、販売ルートの確保、必要資材購入のための資金の調達などがあるが、農産物価格が低迷しているなか、特に振興作物を拡大するために必要な営農形態変更への助成や、そのほとんどが施設園芸を行う新規参入者を支援することは、一定の妥当性があると判断した。			

7 平成14年度事業の総合評価

[評点の意味]	[課長評価]	B	[最終評価]	B	(前年度)
A: 極めて良好 B: 良好 C: 可も不可もない D: 問題がある E: 大きな問題がある		<p>予定事業量が確実に実施され、それに伴う施設作物の生産量も増加している。また、新規参入者にとっては、この事業により就農開始時の投資額が軽減されるなど、一定の効果があつた。しかし、事業の対象や補助内容について再検討をすることも必要と考え、良好と判断した。</p>		<p>課長評価を了承する。</p>	

8 今後の方向性・課題

担当課長評価	都市近郊型農業の推進は市総合開発計画にも位置づけられており、ビニールハウス100棟構想もほぼ達成し、成果も現われているが、今後とも施設園芸を拡大していく必要があることから、新農業振興計画の中にも引き続き施設園芸を振興することとしている。しかし、事業実施にあたっては、成果目標はもとより、補助対象並びに補助基準などを明確にして行う必要がある。
最終評価	本市の地理的条件を活かした都市近郊型農業推進のため、高収益な施設園芸作物の生産拡大を図っており、今後は栽培作物・生産量・販売額など適切な目標設定により安定的な経営に努める必要がある。

9 平成16年度の方向性

事業規模	*; 担当課長 ; 最終評価	事業内容		
		現状維持	一部見直し	大幅見直し
拡大方向				
現状維持				
縮小方向	*			
統合				
休・廃止				
上についての説明	[課長] 事業量の減による補助金額の減。			

(付表)
補助・負担金等事業内容整理表

担当部課： 経済部農水産課
 事業名： 施設園芸推進補助事業

1 補助・負担相手方の概況

補助・負担金名称	施設園芸推進事業補助金
支出相手方(名称、代表者、構成員)	石狩市農協そ菜園芸振興会 会長 松本 睦夫 会員数 196名
活動(事業)目的	石狩市内の野菜生産の合理化を促進し都市近郊園芸そ菜の供給地として生産振興に努め、経営の安定と農業所得の向上を計る。

2 補助・負担相手方の財政状況等

(単位:千円)

		H12決算		H13決算		H14決算		H15予算	
		全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象	全体	補助対象
歳出決算 (予算)状況	ハウス設置経費			12,010	12,010	17,200	17,200	5,000	5,000
	歳出合計			12,010	12,010	17,200	17,200	5,000	5,000
歳入決算 (予算)状況	施設園芸推進事業補助金			6,000	50.0%	8,600	50.0%	2,250	45.0%
	会員負担		市の補助負担金への依存度	6,010	市の補助負担金への依存度	8,600	市の補助負担金への依存度	2,750	市の補助負担金への依存度
	歳入合計			12,010		17,200		5,000	
補助・負担対象経費の内容	ビニールハウス資材購入経費								
補助・負担金額の算定方法	上記経費の1/2以内に相当する金額								

3 補助・負担相手方の活動状況

活動結果を示す指標名	H12実績	H13実績	H14実績	H15目標
ビニールハウス設置数(棟) (再掲)		22	23	8
延べ設置数(棟) (再掲)		69	92	100
平成14年度活動(事業)実績	高岡・北生振・花畔地区に設置 ミニトマト10棟・メロン3棟・ほうれん草、小松菜4棟・花3棟、その他野菜3棟			

4 特記事項

--